

知っていますか？

妊娠中と産後の歯のトラブル

妊娠中は女性ホルモンなどの影響で歯周病になりやすく、悪化しやすいです。

歯周病の妊婦さんはそうでない妊婦さんに比べて、

早産または低出生体重児の出産になるリスクが7.5倍高いという報告もあります（※）。

親知らずが腫れる、妊娠性歯肉炎など、つわり、歯が磨けないなどによって

様々なトラブルが生まれます。

生まれてくる赤ちゃんのお口の健康を守るために歯科の受診をおすすめします。

※J Periodontal 1996;67:1103-1113



妊娠中の歯科治療について

歯科治療を受ける前に、妊娠中であることを必ずお伝えください。

① レントゲン

歯科のレントゲンは歯の部分だけを写します。
防護エプロンをつけて撮影しますので、おなかの赤ちゃんへの影響はありません。

② 麻酔

歯科治療に用いられる麻酔の使用量はわずかですが、適切に処置をうけるために、以前に歯科麻酔薬でのトラブルや、気分が悪くなったなどの経験をお持ちの場合には医療機関へお伝えください。

③ お薬

妊娠中でも安全に使用できる薬剤が処方できることがありますので、歯科医師へご相談ください。



出産してからは、お子さんのことを優先してママ自身の歯の健康は後回しになりがちになるなど、産後にむし歯になったり、歯周病が悪化したという方もいらっしゃいます。
ママのお口の健康は、お子さんの健康やむし歯予防にもつながっています。
妊娠がわかったら、できるだけ早く歯科へ相談に行きましょう。また、出産後もお子さんとあなたのために、ご自身に合った口腔ケアを続けていきましょう。

名古屋市 妊産婦歯科診査について



対象

名古屋市に住所を有する
妊娠中または産後1年以内の方

受診時期

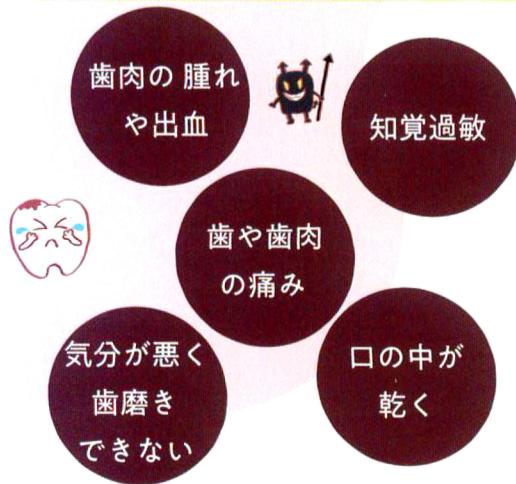
- 妊婦歯科診査…妊娠中に1回
- 産婦歯科診査…お子様の1歳の誕生日の前日までに1回

内容

歯科診査と保健指導

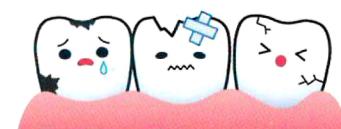


妊娠時によく起こるお口のトラブル



対策① 自宅でのセルフケア

- つわりなどで磨けないときは、ブクブクうがいをしましょう。
- 食後の歯みがき・うがいをこまめにしましょう。
- ヘッドの小さな歯ブラシがオススメです。
- 糖分の多い飲食物・酸性食品をだらだら食べることは、控えましょう。



対策② 歯科医院でのプロケア

妊産婦歯科診査

つわりがおさまる4～5か月頃に、歯科診査を受けましょう。

妊娠時の歯科治療

治療が必要な場合は、比較的体調の安定した、妊娠中期に済ませるのが理想です。

歯科治療を受ける前に、産婦人科の担当医に一度相談することをおすすめします。